

自社開発で、装置稼働管理システムを構築

内製化

可視化

申請事業者：吉川工業アールエフセミコン株式会社（新富町）
業種：製造業

コンサル事業者：産業DXサポートセンターみやざき

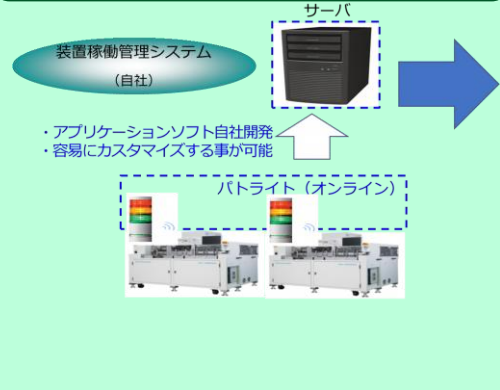
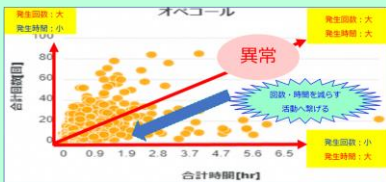
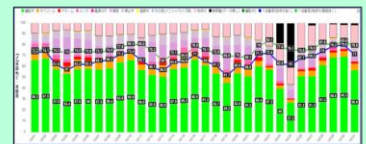


自社開発で装置稼働管理システム構築し、装置稼働率を向上！！

取組の概要

導入部門：テストシステム開発課/装置技術課
導入業務：生産装置稼働管理業務
導入目的：装置稼働率の向上のため
導入技術：装置稼働管理のWEBシステム開発
導入手法：装置稼働データをデータベースに自動保存し、WEBシステムを利用して、装置稼働の情報共有を実施。
導入費用：¥5,070千円（税抜）
（コンサル費用 ¥0円、導入・他 ¥5,070千円）

- 装置稼働実績（稼働時間・率）
 - 装置の稼働状況
 - 不稼働データのばらつき
- の見える化



取組の背景

- 抱えていた問題点
 - ・46台分の装置稼働状況を、手作業でチェックシートに記入していたため、正確な稼働状況・実績を把握できていなかった。
 - ・EXCELを使って集計していたため、データ集計・解析作業工数が費やされていた。
 - ・課題感があったが、装置稼働管理ソフトを外注する場合、柔軟にカスタマイズする事が出来ない。
- 解決に向けた課題設定等
 - ・自動集計・解析する事で、作業工数が削減でき、低稼働装置の原因を追求しやすい環境を構築できる。
 - ・自社開発する事で、外注へのソフト購入費用を抑制でき、カスタマイズが容易になる。
 - ・装置稼働情報を社内共有する事が可能になる。
 - ・稼働状況を分析することで、稼働率80%以上を実現する。

取組の成果

1日あたりの装置稼働管理時間を89%削減
装置稼働データ記入・集計時間 90分→10分